

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)		ゴルフ場（経営者）	・客単価、入込人数とも良好に推移している。予約状況を見ても、やはり前年、前月よりも良い方向へ動いている。
		百貨店（店舗企画）	・季節予報から、昨年以上に温かくなることがないと思われるので、衣料品の動きが回復傾向に向かうと予測している。免税売上も鈍化傾向にあるが、客数でカバーできている傾向にある。
		コンビニ（経営者）	・種々のキャンペーンにより来客数が増加する。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・今月の客室稼働率は前年同月実績を下回る見込みだが、現段階の予約状況から推測できる今後2～3か月後の稼働率は前年実績を上回る見込みである。
		旅行代理店（マネージャー）	・年末年始旅行の予約や問い合わせが、近年よりも増加傾向であると考えられる。
		一般小売店〔菓子〕	・特にこれといった上下する要素が見当たらない。
		スーパー（販売企画）	・昨年あったプレミアム付商品券の影響が今月はあまり出ていないので良かった。今後もその影響はないと予測できる。客数と客単価へ影響する要因も考えられないので変わらない状況で続くと思われる。
		コンビニ（代表者）	・客の動向は安定しており、しばらくこの状況は続く判断する。
		衣料品専門店（経営者）	・今月は、例年と比べて暑い日が続いているためか、季節物の商品の売行きがあまり芳しくない状態が続いている。景気についても、まだ客の購買意欲を強く感じることはできず、景気回復は様子見だとみられる。
		乗用車販売店（経理担当）	・今後悪くなりそうな材料は特に見当たらない。観光を中心に良い状況は続きそう。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・年末へ向け繁忙期に入るが、前年比でどうかは不透明である。大きく変動する要素は見当たらない。
		通信会社（サービス担当）	・成熟社会、消費マインドの低下で消費者の財布のひもが固くなっている。
		住宅販売会社（代表取締役）	・建築受注は良く、建築の手持ち工事は多いが、下請協力会社の人手不足が顕著になっている。工事の工期遅れが懸念される。
		住宅販売会社（営業担当）	・住宅ローンの金利も最低金利を継続しており、客も時間をかけて建築計画をしている感がある。
	通信会社（店長）	・今回よりも話題性のある商品の発売は年内にはなく、年末にかけては厳しい状況が続くと思われる。	
	×	商店街（代表者）	・クルーズ船が入ったりすると客が来るが、なかなか商品を買うまでには至らない。特に婦人衣料等が大変売れなくて、困っているようである。国の一部は景気は良い方向に向かっているという情報もあるが、末端の商店街は日々、売上が上げられず、危機感を持っている。
	×	その他専門店〔楽器〕（経営者）	・新規事業はまだまだ、売上など数字は出ない状況である。在庫や投資の試験段階で、在庫一掃を進めながらネット販売等売上環境も構築中である。当面は厳しい状況が続く。
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・求人は超売手市場のため、賃金がどんどん上がっていく。売上がついていけば問題ないが、実際は平衡状態なので利益が出にくい。人手不足を補うため、機械化をすすめている。
企業 動向 関連 (沖縄)		-	-
		輸送業（代表者）	・公共工事の大型物件端境期のなか、離島でリゾート関連の民間大型工事が動き出している。ただ、7月から集中している台風の影響が懸念される。
		食品製造業（総務）	・年末に向けての季節要因からすると確実に今月よりは良くなるが、前年同期比でみるとそれほど変わらない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・公共工事向けが年末にかけて発注の見込み。
		建設業（経営者）	・競合が増えて価格競争に陥るので、受注には結び付かない。
		輸送業（営業）	・県外荷主の新規参入など、相談件数はかなり増えているが、人員不足が続いており新規での業務拡大は厳しい。残業も社会的問題となっており身の丈に合った荷主への絞り込みも必要と思われる。
		広告代理店（営業担当）	・県内企業の販促活動は、当然ながら業種・業態によって違いはあるものの、県外企業、あるいは海外企業との競争が激化するなかで、交付金などの助成事業の活用がなければ厳しい状況が続いている。

		コピーサービス業（営業担当）	・受注量が減ってきている。この先、増える見込みも無い為やや悪くなるとみられる。
	x	-	-
雇用 関連		-	-
(沖縄)		学校 [専門学校]（就職担当）	・早くも次年度向けの就職サイトがオープンするなど、活気が感じられる。
		人材派遣会社（総務担当）	・派遣先企業も人材確保のために直接雇用へ切替えを依頼されることが増えている。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・2～3か月後には求人数が減少する。
		学校 [大学]（就職担当）	・大学では後期が開始し、求人数が活発化することを期待しているが、特段伸びている感じはなく、むしろやや予想を下回っているようにみられる。
		求人情報誌製作会社（編集室）	・12月までは求人件数は減少するものとみられる。1月に入ると大幅に件数が増加する傾向にある。
	x	-	-